

日本語におけるジェンダー表現の一考察

－「女性」「男性」のコロケーションを中心に－

馬雯雯(筑波大学大学院生)

1. はじめに

本研究は計量テキスト分析の手法を用い、『朝日新聞』の記事データベース（聞蔵Ⅱビジュアル）の1984年、1994年、2004年、2014年の新聞記事を調査資料とし、日本語の名詞「女性」「男性」¹と形容詞、名詞のコロケーションから女性・男性を表すジェンダー表現の特徴、そして、その経年的な特徴を考察するものである。国立国語研究所（1972）によれば、形容詞にはものや人の性質や状態、動きの様子を表すものがある。このような機能を有する形容詞を分析対象とすることは、ジェンダー表現研究に不可欠だと考えられる。また、「女性」は「社員」「議員」などの人を表わす名詞と共起し、「女性○○」の形でジェンダーを表現する。寿岳（1979）、中村（1995）などではこのような表現に女性への偏見が潜むことが指摘されている。しかし、「男性」と人を表わす名詞の共起も観察される。そこで、本研究では「女性○○」と「男性○○」の違いはどこにあるのか、また、「女性○○」と「男性○○」の経年的な特徴はどこにあるのかについてコロケーションの視点から考察する。

2. 本研究の立場

2.1 ジェンダー表現

中村（1995：7）によれば、ジェンダー表現研究は、ある言語においてジェンダーがどのように表されているのかを研究する分野である。日本語のジェンダー表現研究には、辞書や新聞に使われる語彙・表現に見られる女性差別を考察したものが多い²。冠として職業名などの前につけられ、その職業に従事している人が女性であることを表す「女性○○」についても盛んに検討されてきた（寿岳 1979、田中 1984、中村 1995・2007）。これらの先行研究の特徴として、質的な分析に重きを置いて性差別的なジェンダー表現を考察している点があげられる。計量的なジェンダー表現研究はこれまであまり行われていない。そこで、本研究は新聞記事を調査データとして、計量テキスト分析の手法でジェンダー表現の特徴を探ってみることにする。

2.2 コロケーション

本研究では「女性」「男性」とそのコロケーションの視点から日本語におけるジェンダー表現を考察する。コロケーションの定義は立場により異なっており、堀（2009：7）によれば、コロケーションは「語と語の間における、語彙、意味、文法等に関する習慣的な共起関係」である。Sinclair, Jones & Daley（2004：10）はコロケーションには“significant collocation”（有意なコロケーション）と“casual collocation”（偶然的なコロケーション）があるということを指摘している³。ここでは、便宜的に前者の捉え方で「コロケーション」という語を用いる。

3. 研究方法

¹ 混乱を避けるため、本研究では女性、男性その人自身と区別する意味で、研究対象となる名詞には「女性」「男性」のように、鍵括弧を付して表記している。

² 例えば、ことばと女を考える会（1985）、遠藤（1997）などが挙げられる。

³ 日本語訳は石川（2006：3）を参照した。

本研究は KH Coder⁴を用い、計量テキスト分析の手法でジェンダー表現を考察する。具体的には、まず、調査資料として、『朝日新聞』の記事データベース『聞蔵Ⅱビジュアル』の1984年、1994年、2004年、2014年の新聞記事を用いる⁵。そして、「女性」「男性」という語が含まれる記事を、段落を単位として抽出し、KH Coder に搭載されている「KWIC コンコードダンス」⁶を利用し、「女性」「男性」についてのコロケーションを出力し、分析を行う。

4. 結果と分析

4.1 「女性」「男性」と形容詞のコロケーション

「女性」「男性」と形容詞のコロケーションの考察にあたっては、「女性」「男性」の直前にあり、「女性」「男性」を直接に修飾する語を対象とした。「女性」「男性」の直前にある語とその頻度は以下の表1、表2のように示す。

表1 「女性」の直前に共起する形容詞とその頻度

	形容詞+「女性」
1984	若い (69), 親しい (2), 美しい, おっかない, 速い
1994	若い (252), 美しい (4), 新しい (3), 悲しい (3), 貧しい (3), 強い (2), 明るい, いい, 忙しい, いとしい, おとなしい, 可愛らしい, 寂しい, たくましい, 力強い, 優しい
2004	若い (234), 美しい (10), 強い (5), かわいい (2), 貧しい (2), 優しい (2), 愛らしい, 明るい, 忙しい, うら若い, 偉い, 親しい, すごい, すばらしい, 堅い
2014	若い (196), 美しい (12), 可愛い (6), 強い (6), 貧しい (6), いい (2), 賢い (2), かわいらしい (2), すばらしい (2), 恐ろしい, おとなしい, 格好いい, 我慢強い, 親しい, たくましい, 激しい, 弱い

〇 内は頻度、頻度無表記のものは1回

表2 「男性」の直前に共起する形容詞とその頻度

	形容詞+「男性」
1984	若い (3), いい
1994	若い (35), 強い, りりしい
2004	若い (22), いい (2), かわいらしい
2014	若い (43), 親しい, 優しい, 恋しい

〇 内は頻度、頻度無表記のものは1回

表1からわかるように、「女性」の直前にあり、「女性」を修飾する形容詞はバリエーションに富んでいる。経年的にみれば、調査範囲のどの時期にも「若い」「美しい」と「女性」は共起している。Firth (1957:196)によれば、コロケーションには“the stylistics of what persists in and through change”（時代の変化においても変わらないコロケーション）がある⁷。「若い女性」「美しい女性」は時代の変化においても変わらないコロケーションである。頻度からみれば、「女性」とその直前に共起する形容詞においては、「若い」との共起頻度が最も高い。そして、1984年を除き、「女性」と「美しい」もよく共起している。1994年は「女性」と「新しい」、2004年は「女性」と「強い」、2014年は「女性」と「可愛い」「強い」「貧しい」との共起頻度は比較的に高かった。

表2は「男性」の直前にある形容詞とその頻度である。表2からわかるように、「男性」と共起する形容詞のバリエーションは「女性」より乏しい。頻度からみれば、「女性」と同じように、「男性」の直前に共起する形容詞においては、「若い」の頻度が最も高い。経年的にみれば、「若い」と「男性」の共起も時期が変わっても変化しないコロケーションである。

表1、表2から、直接性質・状態などを表している「女性」「男性」の直前にある形容詞は「男性」より「女性」の方がバリエーションに富んでいることがわかった。このバリエーションから新聞記事においては、女性は男性より性質や様子の描写がなされやすい傾向がうかがえた。そして、「若い女性」「美しい女性」「若い男性」は時代が変わっても、共起

⁴ KH Coder は、樋口耕一によって開発されたテキスト型データを統計的に分析するための無料ソフトである。詳しくは樋口 (2014) を参照されたい。

⁵ ただ、1984年8月以降しか公開されないで、1984年は8月から12月までの新聞記事をデータにした。

⁶ 樋口 (2014:143)によれば、「KWIC コンコードダンス」は分析対象ファイル内で抽出語がどのように用いられていたのかという文脈を探ることができる。

⁷ 日本語訳は堀 (2012:5) を参照した。

関係を有するコロケーションである。また、「女性」「男性」の直前に位置する形容詞のうち、「女性」も「男性」も「若い」と最も強い共起関係を有している。テキスト本文に戻り、確認しながら分析した結果、「若い」と「女性」「男性」の強い共起関係は偶然のものではなく、「若い女性向け」「若い女性を対象に」「若い男性層」のように、「若い女性」と「若い男性」は二つの定着度の高いカテゴリーとして認識され、用いられていることが確認された。

4.2 「女性」「男性」と名詞のコロケーション

「女性」「男性」と名詞のコロケーションの考察にあたっては、「女性」「男性」の直後にある人を表わす名詞（上位5語）を対象とし、共起頻度、経年的な特徴、意味分類から分析を行った⁸。「女性」「男性」の直後にある人を表わす名詞とその頻度の詳細は表3のようである。

表3 「女性」「男性」の直後に共起する人名詞とその頻度（上位5語）

	「女性」＋人名詞		「男性」＋人名詞
1984年	記者(15), 社員(15), 職員(12), 大臣(12), 孤児(11)	1984年	客(12), 職員(10), レーサー(4), アナウンサー(2), 孤児(2)
1994年	社員(84), 議員(77), 作家(51), 患者(40), 記者(36)	1994年	社員(36), 会社員(30), 患者(23), 教師(20), 客(18)
2004年	社員(70), 作家(68), 客(61), 天皇(58), 患者(44)	2004年	会社員(68), 患者(62), 教諭(48), 社員(47), 客(45)
2014年	議員(120), 客(67), 閣僚(60), 社員(56), 職員(49)	2014年	会社員(63), 社員(53), 医師(37), 職員(37), 客(31)

（）内は頻度、頻度無表記のものは1回

表3から、経年的に、「女性社員」は経年的にも変わらないコロケーション、かつその使用頻度はどの時期も「女性」の直後に共起する人名詞の上位5位にあることがわかった。「女性」と「記者」の共起は1984年及び1994年の上位5語に観察されたが、2004年と2014年の上位5語に観察されなかった。頻度からみれば、調査範囲の四つの時期において、2014年の「女性」と「議員」の共起は最も高かった。意味分類には、「成員・職」に属する語は3語（議員、社員、職員）、「専門的・技術的職業」に属する語は2語（記者、作家）、「管理的・書記的職業」に属する語は2語（閣僚、大臣）、「人物」に属する語は1語（患者）、「主客」に属する語は1語（客）、「君主」に属する語は1語（天皇）、「子・子孫」に属する語は1語（孤児）である。四つの時期を合わせてみれば、「女性」は「成員・職」を表わす人名詞と共起しやすい。

「男性」と人名詞の共起においては、経年的にみれば、「男性客」は時期が変わっても使われているコロケーションである。1984年を除き、「男性」と「会社員」「社員」の共起は1994年、2004年、2014年に観察された。即ち、「男性会社員」「男性社員」の形で、男性である会社員、社員を指している。頻度からみれば、「男性」と「客」「社員」「会社員」の共起はそれぞれの時期に最も高かった。そのうち、「男性会社員」は経年的にもよく共起しているコロケーションである。意味分類には、「専門的・技術的職業」に属する語は4語（医師、教諭、教師、アナウンサー）、「成員・職」に属する語は3語（会社員、社員、職員）、「人物」に属する語は2語（患者、レーサー）、「主客」に属する語は1語（客）、「子・子孫」に属する語は1語（孤児）である。全体的には、今回の調査データにおいては、「男性」と「専門的・技術的職業」を表わす人名詞とより共起しやすい。

上述した分析から、「女性」と「男性」の直後に共起する人名詞には、重なる語もあるが、異なる語もある。重なる語としては、「社員」「職員」「客」「患者」「孤児」が挙げられる。異なる語とその意味分類は以下の表4になる。

表4 「女性」「男性」と共起する異なる人名詞とその意味分類

意味分類	「女性」と共起する人名詞	「男性」と共起する人名詞
成員・職	議員	会社員
専門的・技術的職業	記者、作家	医師、教諭、教師、アナウンサー
人物		レーサー
管理的・書記的職業	閣僚、大臣	
君主	天皇	

⁸ 意味の分類は『分類語彙表増補改訂版』（2004）を参照した。

表4からわかるように、「女性」「男性」と共起する異なる人名詞においては、「成員・職」という意味分類に属する語はそれぞれ「議員」と「会社員」である。「専門的・技術的職業」に属する語には「女性」は「記者」「作家」と共起しているが、男性と「医師、教諭、教師、アナウンサー」と共起している。また、語数からみれば、「女性」は2語で、「男性」は4語である。調査範囲の出現頻度の高い語（上位5語）には、「男性」は「女性」より「専門的・技術的職業」という意味分類に属する語と共起しやすい。そして、「人物」という意味分類に属する共起語には「男性」は1語で、女性との共起は見られなかった。それに対して、「管理的・書記的職業」「君主」に属する語はそれぞれ「女性」との共起語である「閣僚」「大臣」及び「天皇」が観察され、この意味分類に属する「男性」との共起語は今回の調査データにはなかった。上述した共起語の違いから、「女性」は「男性」より「管理的・書記的職業」及び「君主」という意味分類に属する語と共起しやすいが、「男性」は「専門的・技術的職業」を表わす人名詞とより共起しやすいということがわかった。

5. まとめ

本研究は計量テキスト分析の手法を用い、『朝日新聞』の記事データベース（聞蔵Ⅱビジュアル）の1984年、1994年、2004年、2014年の新聞記事を調査資料として、日本語の名詞「女性」「男性」と形容詞、名詞のコロケーションから女性・男性を表すジェンダー表現の特徴、そして、その経年的な特徴を考察した。その結果から、新聞記事においては、女性の方が男性より性質や様子の描写がなされやすい傾向があること、「若い女性」「美しい女性」「若い男性」は経年的にも変わらないコロケーションであること、「若い女性」「若い男性」は定着度の高いカテゴリーとして扱われていることがわかった。そして、「女性」「男性」の直後に人名詞がよく共起していることが確認され、その上位5語から、「女性社員」「男性客」は経年的にみても変わらないコロケーションで、「男性会社員」「男性社員」は1994年、2004年、2014年という三つの時期に観察されたコロケーションであることがわかった。また、「女性」は「男性」より人名詞と共起する頻度が高いが、共起する語には違いがあり、「女性」と「議員」「記者」「作家」「閣僚」「大臣」「天皇」と共起している。それに対し、「男性」は「会社員」「医師」「教諭」「教師」「アナウンサー」「患者」「レーサー」と共起しやすい。意味分類からみれば、「女性」は「管理的・書記的職業」「君主」を表わす名詞と共起しやすく、「男性」は「専門的・技術的職業」を表わす名詞とより共起しやすい。

参考文献

- 遠藤織枝 (1997). 女性を表す語句と表現—新聞の人物紹介と雑誌広告の欄から— 井出祥子(編) 女性語の世界 明治書院 pp. 94-113.
- Firth, J. R. (1957).
Papers in Linguistics, 1934-1951. London: Oxford University Press.
- 樋口耕一 (2014). 社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して ナカニシヤ出版
- 堀正広 (2009). 英語コロケーション研究入門 研究社
- 堀正広 (2012). これからのコロケーション研究 ひつじ書房
- 石川慎一郎 (2006). 言語コーパスからのコロケーション検出の手法—基礎的統計値について— 統計数理研究所共同研究リポート190, pp. 1-6.
- 寿岳章子 (1979). 日本語と女 岩波書店
- 国立国語研究所 (1972). 形容詞の意味・用法の記述的研究 秀英出版
- 国立国語研究所 (2004). 分類語彙表増補改訂版 大日本図書
- ことばと女を考える会 (1985). 国語辞典にみる女性差別 三一書房
- 中村桃子 (1995). ことばとフェミニズム 勁草書房
- 中村桃子 (2007). <性>と日本語—ことばがつくる女と男 日本放送出版協会
- Sinclair, J., Jones, S., & Daley, R. (2004).
English Collocation Studies: The OSTI Report. London・New York: Continuum.
- 田中和子 (1984). 新聞にみる構造化された性差別表現 磯村英一・福岡安則(編) マスコミと差別語問題 明石書店 pp. 179-201.